

第一話

芸能記者歴50年以上の
市松たま緒

あら
まあ…

今まで多くのスターを
裏で支えてきた
陰の立役者

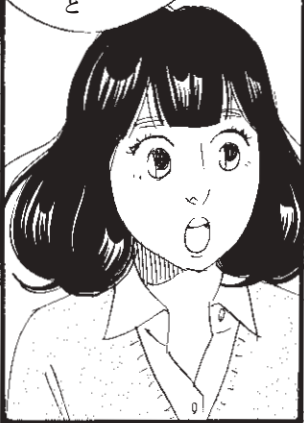
そして
そんな存在は
舞台芸術の世界にも

20世紀を
代表する
バレエの
振付家よ



へー！！
バレエ！！

興味あるけど
私まだ一度も
バレエを観たこと
なくて…



The 10th Anniversary of
Maurice Béjart's Death

月日がたつのは
早いわあ…

ベジャールさんが
亡くなって
もう10年なのね！



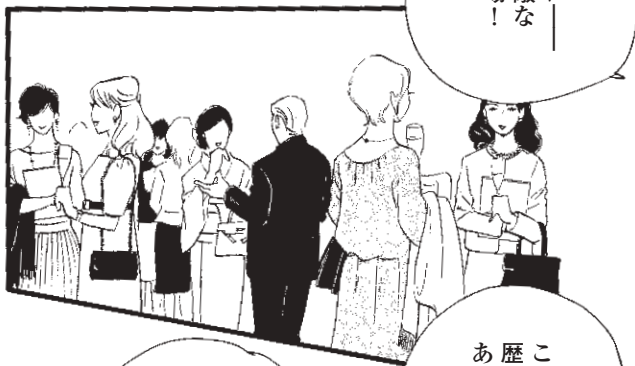
市松さん
その方は
誰なんです？

第一話

じゃあ
ちょうど
この公演に
ご招待
いただいたから

あなたも
一緒に
行ってみる？

ホントですか!?
嬉しい——!!

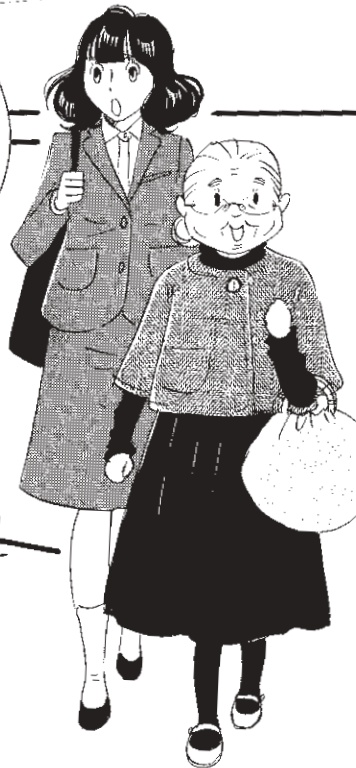


うわー
素敵な
劇場！

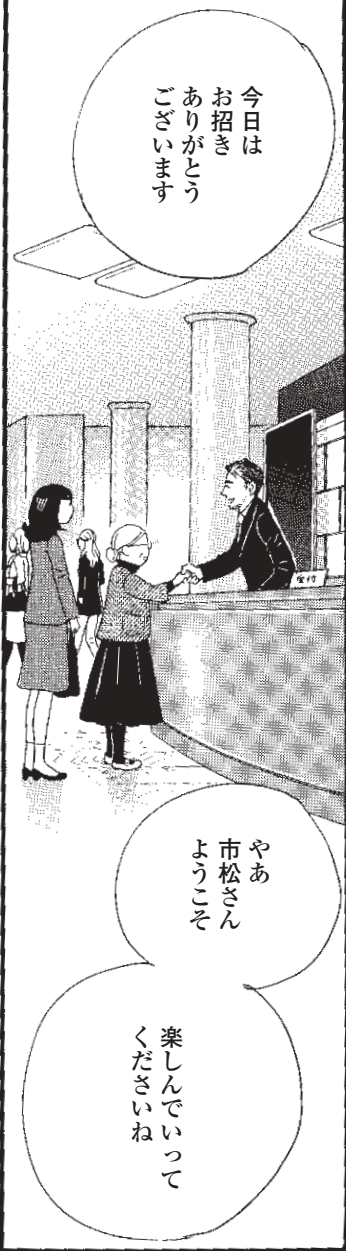
こども
歴史が
あるからね

華やかな
雰囲気ですね

おもしろいね
おもしろいね
おもしろいね



今日は
お招き
ありがとうございます



市松さん
すこい…

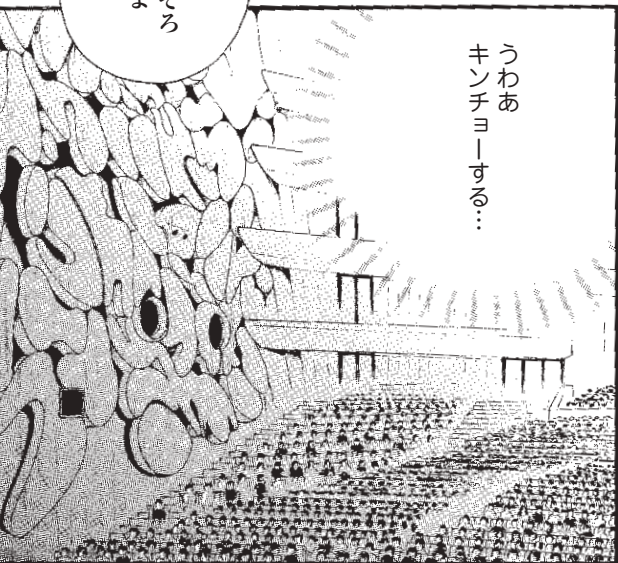
しかし
すこい

顔パスなのは
記者会見場だけじゃ
ないのね

きみちゃん
こっち
こっちー！

そろそろ
開演よ

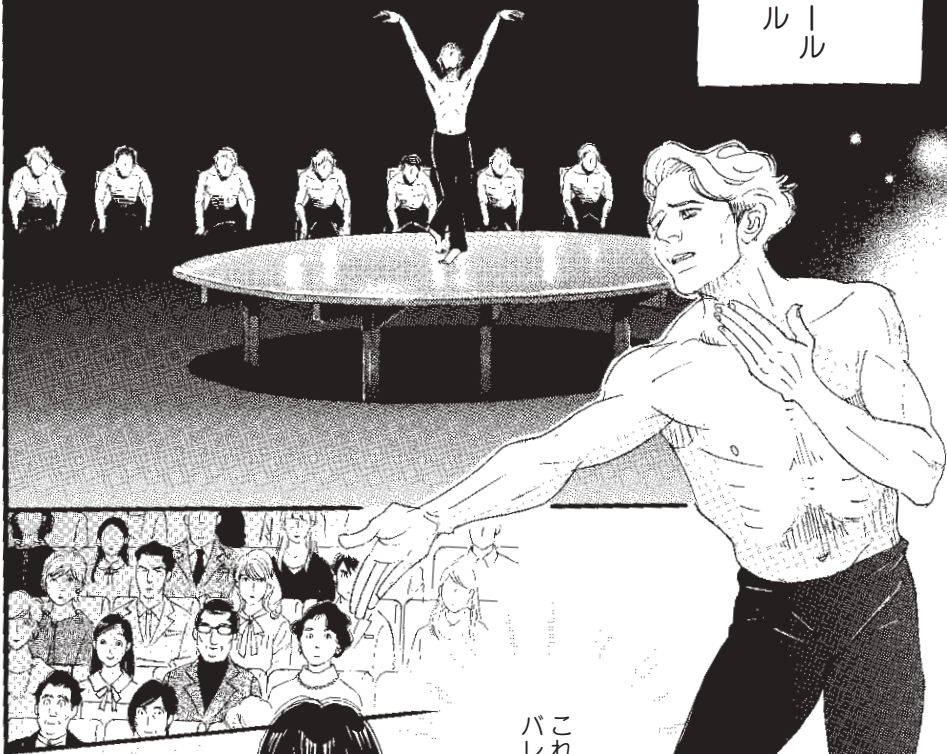
うわあ
キンチヨーする…



やあ
市松さん
ようこそ

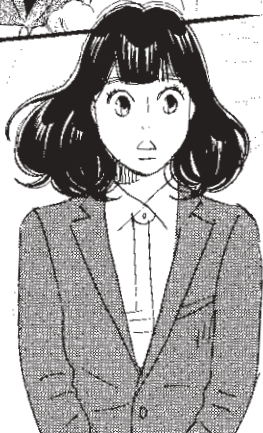
楽しんでいって
くださいね

『ボレロ』
振付 ベジヤール
音楽 ラヴェル



これが
バレエ!?

物語
じゃない!?





1960年(昭和35年)初演の
この作品は
50年以上たった今も
色あせない
ベジャールの代表作

ラヴェルの曲にのせて
メロディ(ソロ)と
リズム(群舞)が
織りなす傑作だ





まるで
音楽そのものを
観ているみたい！



すごい
—!!

ブラヴォー!

ブラ
ヴォ
オー
!!!

10
10
10
10
10
10
10
10
10
10

10
10
10
10
10
10
10
10
10
10

素晴らし
かったわ
ね〜

さあ
ごはんでも
食べに行き
ましょうか

...

あら!?
あなた
放心してる!?

いやもう...

感動しすぎて
席から
立ってないです...

最初は
思っていた
バレエと違うから
びっくりしたけど

まあ！
そんなに感動して
もらえたら
私も嬉しいわ


きっと
ベジャールさん^{ベジャール}も
佐々木さん^{ささき}も
天国で
喜んでるわね

え……

佐々木さん……？

観ているうちに
体の奥から熱く
湧き上がる
ものがあった……

とにかく
こんな感動は
私初めてです！！



佐々木さんは
東京バレエ団の
創立者で
ベジャールさん
とも深い親交が
あった方

日本で今たくさんの
海外バレエ団の公演が
普通に観られるのも
佐々木さんの
尽力があつてこそ…

日本人に
バレエ文化を
植えつけたのは

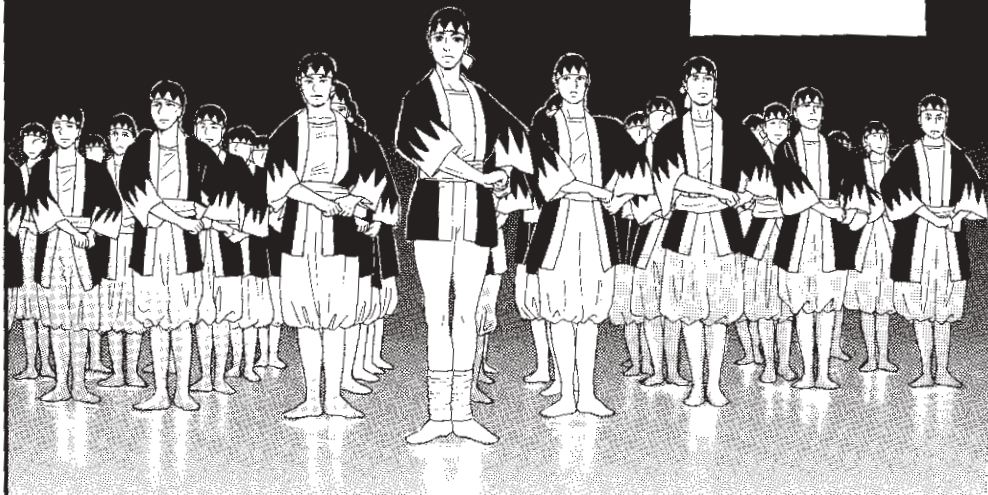
佐々木さん
だったと
言っても
過言じゃないわ

あれは
1986年(昭和61年)
10月

創立以来
たくさんの海外公演を
行ってきた
東京バレエ団が

ついに
パリ・オペラ座
ガルニエ宮の
舞台に立った

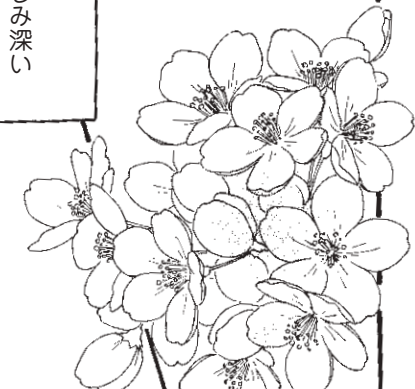
その演目は
ベジヤールが
東京バレエ団のために
振り付けた作品
『ザ・カプキ』





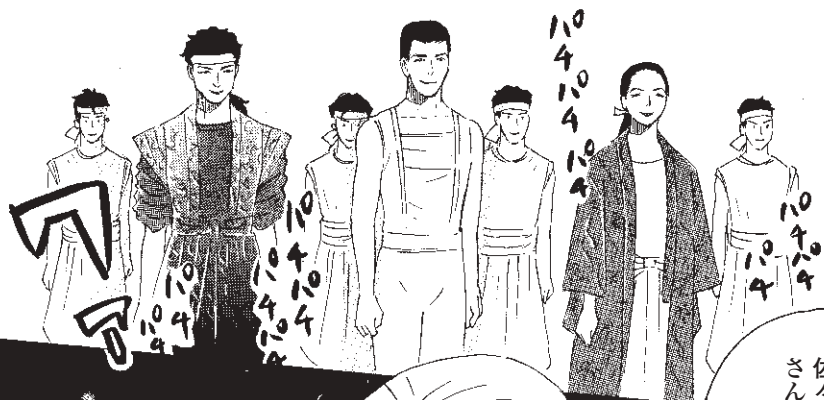
日本人にはなじみ深い
「忠臣蔵」を
モチーフにした
この作品は

世界の
5大オペラハウスでも
上演された名作で
ベジヤールにとつても
代表作のひとつなのだ



この舞台に
パリの観客は
熱狂した——!!

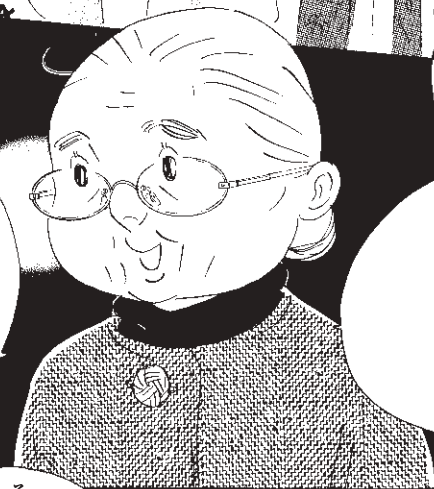




佐々木忠次
さんは

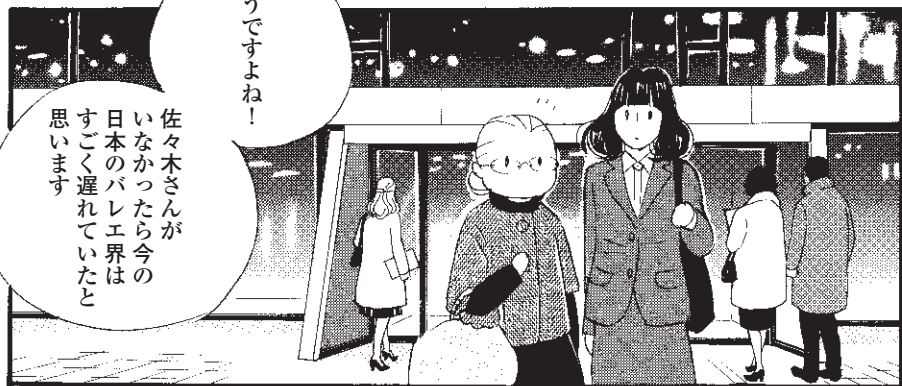
戦後の日本で
「美」と「本物」を
追い求めて

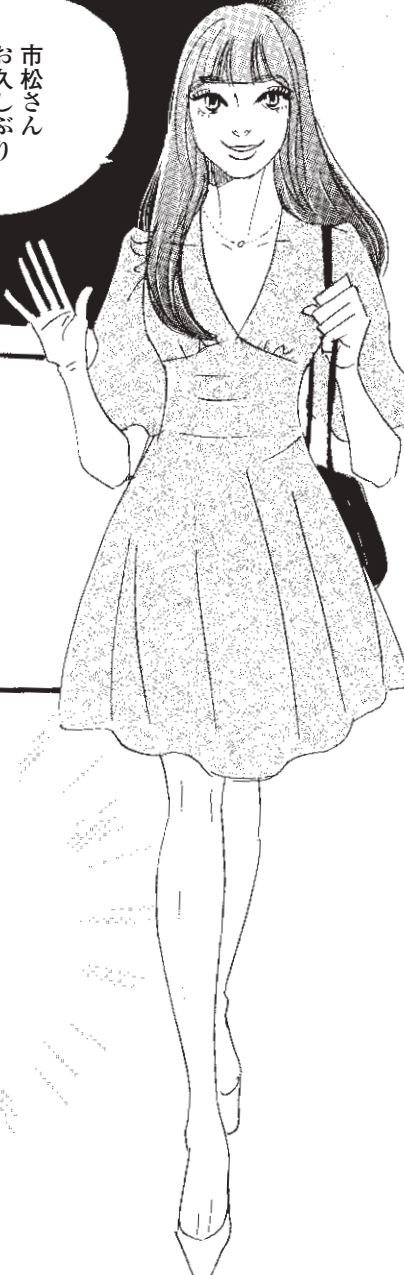
舞台芸術を
牽引した
唯一無二の
存在なのよ…



そうですね！

佐々木さんが
いなかったら今の
日本のバレエ界は
すごく遅れていたと
思います






市松さん
お久しぶり
です

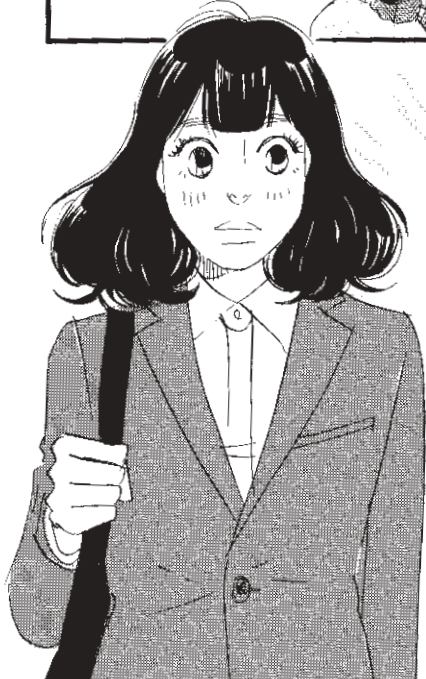


え!!?



まあ
水香ちゃん!!

あなたも
今日の舞台を
観ていたの



この
ハンパじゃない
オーラの人
誰—!?